

過分なる表彰を賜り恐縮をしております。

平成23年度は校長会の絆を強く感じた年でした。各ブロックの研究大会を訪問させていただきました。「校長会はひとつ」「一枚岩の校長会」「校長会としての絆」など、校長会の結束を示す言葉にたくさん出会うことが出来ました。

特に、東日本大震災復興支援については、全国の校長先生方の気持ちに何度も涙した1年間でした。何度も感動した1年でした。

長い年月によって諸先輩方の努力により築き上げられてきた全日本中学校長会の「絆」がしっかりと見えた年でした。

特に復興支援については、改めて全国の校長先生方に感謝を申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を強く念ずるところです。

私たち校長は、その経営において、教師の学びを定着・充実させることが求められております。

「学び続ける子供を育成するには学び続ける教師であらねばならない」ということがさかんに言われております。

教員の資質向上のために校長は何ができるのか、何をしなければならないのか、改めて議論し発信をする必要があると思います。

もちろん校長自身も学び続けなければならないことは当然であります。

私自身も、もっともっと学び続けたい、今は、そのような気持ちです。

全日中の仲間にあらためて感謝し、退任の挨拶と致します。

ありがとうございました。